



## 2021 - 22 年度 国際ロータリー会長メッセージ RI 会長エレクトが 2021-22 年度の会長テーマを発表

記事 Ryan Hyland

2021 - 22 年度 国際ロータリー会長 シェカール・メータ  
Calcutta-Mahanagar ロータリークラブ (インド)

人のために世話をし、奉仕することが最良の生き方。なぜなら、その経験を通じて誰かの人生だけでなく、自分の人生を豊かにできるのだから……。国際ロータリーの次期会長であるシェカール・メータ氏はこう述べ、奉仕プロジェクトへの参加を会員に呼びかけました。

カルカッタ・マハナガル・ロータリークラブ (インド、西ベンガル州) に所属するメータ氏は、ロータリー国際協議会中の 2 月 1 日、次期地区ガバナーに向けて 2021-22 年度の会長テーマ「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」を発表しました。地区ガバナーエレクトを研修するための年次行事である国際協議会は当初、オーランド (米国フロリダ州) で開催予定でしたが、新型コロナウイルス流行のためバーチャル (オンライン) で開催されました。

ロータリーでの奉仕プロジェクトへの参加を通じて自身が人間として成長したことに触れたメータ氏は、その経験を通じてほかの人のニーズに目を向けるようになったと述べました。クラブ入会後まもなく、メータ氏はインドの僻村を支援するプロジェクトに参加しました。

そこで村人たちの状況を目にしたことで、奉仕への決意が固まりました。「同胞たちが抱える苦境を真に理解しました」とメータ氏は語ります。

その後も、子どもへの義肢の寄贈、家庭への安全な水と衛生設備の提供、地域の医療施設の改善など、数々の取り組みに参加しました。

「ロータリーが私の心に火をつけました。自分の身の回りを超えたところに目を向け、人類全体を考えるようになりました」とメータ氏。「奉仕が私の生き方となったのです。多くの方々と同じように、“奉仕とは、自分がこの地上に占める空間に対して支払う家賃である” という信条を持つようになりました」

メータ氏は、次期ガバナーに対し、次年度に自らが模範となって導き、測定可能・持続可能なインパクトをもたらす奉仕プロジェクトへの会員の参加意欲を引きだすよう呼びかけました。また、各クラブが「ロータリー奉仕デー」を実施することを求めました。

「ガバナーとしての役目が終わるとき、皆さんは、ご自身のリーダーシップ、ご自身がロータリアンとローターアクターに与えたインスピレーションのおかげで、会員による奉仕を通じて世界が前よりもよくなったと感じるはずです」

### 多様性と会員基盤の向上に焦点を当てる

メータ氏は、2021-22 年度には会員が女子のエンパワメントに力を注ぎ、教育、リソース、奉仕、機会など、未来の女性リーダーの成功に必要な手段を与えてほしいと述べました。その上で、多様性、公平さ、開放性に対するロータリーの信念を会員が活動の指針とすることが大切であると語りました。

「世界各地で女子は多くの問題に直面しており、リーダーである皆さんは、こうした女子が抱える問題にロータリーが取り組み、それを和らげるように導くことができます」

奉仕を通じて大きなインパクトをもたらすには、ロータリーの会員基盤を広げる必要がある、とメータ氏。全世界の会員数は、過去 20 年間、約 120 万人のまま横ばいです。このため、2022 年 7 月 1 日までに 130 万人に増やすことを目指して地区で率先して活動するよう、次期ガバナーに呼びかけました。メータ氏の「Each One, Bring One」(みんなが一人を入会させよう) は、今後 17 カ月間、全会員がロータリーに一人を入会させることを求めるイニシアチブです。

会員基盤を広げながら、ポリオ根絶活動、新型コロナウイルスとの闘い、地域社会への奉仕を続けていくのは野心的な目標であることを認めた上で、「だからこそ皆さんの意欲が駆り立てられるでしょう」とメータ氏。「挑戦に立ち向かうのがロータリアンだからです」

「ロータリーが私の心に火をつけました。  
自分の身の回りを超えたところに目を向け、  
人類全体を考えるようになりました」

シェカール・メータ 国際ロータリー会長エレクト

### 略 歴

シェカール・メータ (Calcutta-Mahanagar ロータリークラブ所属 インド)

会計士であり、自身が設立した不動産開発会社「Skyline Group」の会長。  
カナダを本拠とする「Operation Eyesight Universal (India)」のディレクター。  
災害救援に熱心に携わり、シェルターボックス (英国) の管理委員も務める。2004年のインド洋大津波の際には、被災した家族のために500戸近い家屋の建築を支援。  
南アジアで1,500件以上の心臓外科手術を提供したプログラムを立ち上げる。インド全土での識字率向上をはかる「TEACHプログラム」の創設にもかわり、このプログラムを通じて何千もの学校に支援を提供。  
1984年にロータリークラブ入会。RI理事、各種委員会の委員と委員長、ゾーンコーディネーター、研修リーダー、ロータリー財団専門グループメンバー、地区ガバナーを歴任。ロータリー財団 (インド) の理事長も務める。  
超我の奉仕賞、ロータリー財団功労表彰状と特別功労賞を受賞。  
ラシ夫人と共にメジャードナー、遺贈友の会会員としてロータリー財団を支援。

# ロータリー賞の目標と 達成方法に関する説明



ロータリー賞の受賞資格を満たすには、年度開始時から終了時までクラブが正規に RI に加盟していることが条件となります。ロータリー賞の受賞資格にある「正規に RI に加盟している」とは、RI からのクラブ請求書の金額を遅延なく(国際ロータリーから 60 日未納の催促通知が発行されることなく)全額支払ったクラブを意味します。クラブが RI 請求額を遅延なく支払っているかどうかは、My ROTARY の「クラブの運営」>「クラブの財務」の下にあるクラブの未納金残高(毎日更新)レポートでご確認ください(このレポートで未納金残高が 0ドルとなっていること)。RI からの請求額は、1 月中旬または 7 月中旬に請求書が閲覧可能となり次第、すぐにお支払いください。

ロータリークラブのリーダーは、ロータリー賞の達成を目指すにあたり、ロータリークラブ・セントラルから 25 の目標のうち少なくとも 13 の目標を選ぶことができるようになります。このような柔軟性が適用されたことにより、クラブにとって最も重要で達成可能と思われる目標を選ぶことが可能となります。さらに、目標の多くはロータリークラブ・セントラル内で「達成」に印をつける自己報告方式となります。

ロータリー賞を達成するには以下を行う必要があります：

- ロータリークラブ・セントラルを開く
- 25 の目標に目を通す
- その中から 13 の目標(または全目標の 51%以上)を選ぶ
- 選んだ目標を達成する
- ロータリークラブ・セントラルで達成を報告する

ロータリークラブ・セントラルを開いたら、「**目標設定・確認センター**」をクリックし、**年度**を選び、「すべて」をクリックしてください。

目標	目標の詳細
会員増強	ロータリー年度末までに達成したいクラブ会員総数
奉仕活動への参加	本ロータリー年度にクラブの奉仕活動に参加する会員の数
新会員の推薦	本ロータリー年度に新会員を推薦する現会員の数
ロータリー行動グループへの参加	本ロータリー年度に少なくとも 1 つのロータリー行動グループのメンバーとなっている会員の数
リーダーシップ育成への参加	本ロータリー年度にリーダーシップ養成プログラム/活動に参加する会員の数
地区大会への出席	地区大会に出席する会員の数
ロータリー親睦活動グループへの参加	本ロータリー年度にロータリー親睦活動グループのメンバーとなっている会員の数

# ロータリー賞の目標と 達成方法に関する説明



目標	目標の詳細
地区研修への参加	地区で行われる研修／セミナー／協議会などに出席するクラブ委員会委員長の数
年次基金への寄付	本ロータリー年度のクラブと会員によるロータリー財団年次基金への寄付総額
ポリオプラス基金への寄付	本ロータリー年度のクラブと会員によるロータリー財団ポリオプラス基金への寄付総額
大口寄付	本ロータリー年度に寄せられる一括 10,000ドル以上の寄付の件数
遺贈友の会会員	遺産計画を通じてロータリー財団に 10,000ドル以上の寄付を誓約することを、初めて本ロータリー年度にロータリー財団に通知する個人・夫婦の数
ベネファクター	遺言またはそのほかの遺産計画に財団恒久基金を指定して寄付することをロータリー財団に通知または恒久基金に 1,000ドル以上を寄付して、新たにベネファクターとなる個人・夫婦の数
奉仕プロジェクト	本ロータリー年度にクラブが実施する奉仕プロジェクトの数
ローターアクトクラブ	本ロータリー年度にクラブがスポンサーする新ローターアクトクラブと既存ローターアクトクラブの数
インターアクトクラブ	本ロータリー年度にクラブがスポンサーする新インターアクトクラブと既存インターアクトクラブの数
来訪する青少年交換学生	本ロータリー年度にクラブが受け入れる青少年交換学生の数
派遣する青少年交換学生	本ロータリー年度にクラブが派遣する青少年交換学生の数
RYLA 参加者	本ロータリー年度にクラブが支援する RYLA (ロータリー青少年指導者養成プログラム) 参加者の数
クラブ戦略計画	クラブにはクラブ独自の戦略計画(長期計画)があるか
インターネット上の存在感	インターネット上にあるクラブの情報は現在の活動を正確に反映しているか
親睦のための活動	本ロータリー年度、例会以外に親睦を目的としてクラブが実施した活動の回数
ウェブサイトとソーシャルメディアの更新	本ロータリー年度中、クラブのウェブサイトとソーシャルメディアアカウントを月に何回更新するか
クラブのプロジェクトのメディア掲載	本ロータリー年度にクラブのプロジェクトを取り上げるメディア記事の数
ロータリー作成の公式推進用資料の使用	本ロータリー年度に地域社会でロータリーを紹介するために、国際ロータリーから提供される広告と公共奉仕資料(ブランドリソースセンターから入手可能な放送用ビデオ、印刷広告、その他の公式資料)を使用した回数

# 年度ロータリー賞の目標と達成のワークシート(インターアクトクラブ)



ロータリー賞(インターアクトクラブ)は、より大きなインパクトをもたらす、参加者の基盤を広げ、より積極的なかわりを促し、適応力を高める活動を行うことで、ロータリーの行動計画を支えたクラブを表彰するものです。

以下の 20 の目標のうち、少なくとも 11 の目標を選択してください。クラブにとって重要で、達成可能であると思われる目標を選ぶことができます。クラブは全ロータリー年度をかけて、これらの目標を達成し、ロータリー賞の受賞を目指すことができます。

目標を設定し、達成への進展を記録する際にこの PDF をご利用ください。スポンサークラブの役員とクラブのアドバイザーがオンラインの推薦フォームを用いてクラブの達成を報告する際にも、この PDF を参照できます。ロータリー賞の受賞に必要な要件は以下の通りです：

- 20 の目標の詳細に目を通す
- クラブのアドバイザーからの指導を受け、11 の目標を選ぶ
- 達成したい目標を選び、「目標の設定の欄」に印をつける。
- クラブが目標を達成したら、「達成」の欄に印をつける
- スポンサークラブの役員とクラブのアドバイザーが年度を通じてこのワークシートを参照し、クラブによる目標達成の進展を記録する
- スポンサークラブの役員またはインターアクトクラブのアドバイザーと協力し、8 月 15 日までにオンラインの推薦フォームを提出する。書式の記入にあたっては、このワークシートを参照する。

ロータリー賞を受賞するには、インターアクトクラブは国際ロータリーから認定され、6 月 30 日までに地区ガバナーから承認されている必要があります。また、成人のアドバイザーが、6 月 30 日までにアドバイザーの氏名と連絡先情報をロータリーに提出している必要があります。

ロータリー賞のカテゴリー	目標の詳細	目標の設定	達成
クラブの会員数	ロータリー年度末までにクラブ会員を__名とする。		
奉仕への参加	本ロータリー年度に、__名の会員がクラブの奉仕活動に参加する。		
ロータリー行動グループとの関わり	本ロータリー年度中、クラブ会員はロータリー行動グループについてより詳しく学び、奉仕プロジェクトのためのインスピレーションを得る機会を持つ。		
リーダーシップ育成への参加	会員のスキルを伸ばすため、__回のリーダーシップ育成プログラムを実施する。		
地区大会への参加	地区大会に__名の会員が出席する。		
ロータリー親睦活動との関わり	本ロータリー年度、クラブ会員はロータリー親睦活動を通じた機会についてより多くを学ぶ。		
地区研修への参加	クラブ会員が地区の研修行事に出席する。		
ラーニングセンターの利用	2020-21 ロータリー年度に、クラブのアドバイザーまたは 1 名の会員が、ロータリーのラーニングセンターで奉仕について学ぶオンラインコースを修了する。		
年次基金への寄付	本ロータリー年度中、ロータリーの年次基金への募金方法や認識向上のための方法を考え、実行する。		
ポリオプラス基金への寄付	本ロータリー年度中、ロータリーのポリオ根絶活動のための募金または認識向上のために、__件の活動を行う。		
奉仕プロジェクト	スポンサーロータリークラブまたはアドバイザーと協力し、6 つの重点分野のいずれかにおいて、意義ある社会奉仕プロジェクトまたは国際奉仕プロジェクトを実施する。		
RYLA への参加	__名のクラブ会員がロータリー青少年指導者養成プログラム(RYLA)に参加する。		
若いリーダーのためのプログラム	若いリーダーのためのロータリープログラム(RYLA、ロータリー青少年交換など)を会員に紹介するための会合を開く。		
学友の参加	スポンサーロータリークラブと協力して、卒業するインターアクトにロータリーアクトクラブ(大学基盤または地域社会基盤のどちらか)を紹介する。		
戦略計画	クラブには最新の戦略計画がある。		
ウェブサイトとソーシャルメディアの更新	本ロータリー年度、クラブのウェブサイトまたはソーシャルメディアのページを月__回更新する。		
クラブのプロジェクトに関するソーシャルメディアの利用	世界インターアクト週間に行った活動について、ソーシャルメディアで紹介する。		
ブランドリソースセンターの利用	ロータリーのブランドを正しく反映したロゴや資料の作成において、ブランドリソースセンターを利用する。		
ロータリーの公式推進資料の利用	本ロータリー年度、地域社会でインターアクトを推進するため、ブランドリソースセンターにある国際ロータリー作成のメッセージや公共奉仕関連の資料(動画、印刷広告、そのほかの資料)を利用する。		
クラブの推進	毎年のインターアクト賞に参加する。		



# 年度ロータリー賞の目標と達成の ワークシート(ローターアクト)



ロータリー賞(ローターアクトクラブ)は、より大きなインパクトをもたらし、参加者の基盤を広げ、より積極的なかわりを促し、適応力を高める活動を行うことで、ロータリーの行動計画を支えたクラブを表彰するものです。

以下の 22 の目標のうち、少なくとも 12 の目標を選択してください。クラブにとって重要で、達成可能であると思われる目標を選ぶことができます。クラブは全ロータリー年度をかけて、これらの目標を達成し、ロータリー賞の受賞を目指すことができます。

目標を設定し、達成への進展を記録する際にこの PDF をご利用ください。また、[推薦フォーム](#)を記入する際にも参考としてください。ロータリー賞の受賞に必要な要件は以下の通りです：

- ・ 22 の目標の詳細に目を通す
- ・ 少なくとも 12 の目標を選ぶ
- ・ 達成したい目標を選び、「目標の設定の欄に印をつける。
- ・ クラブが目標を達成したら、「達成」の欄に印をつける
- ・ 年度を通じてこのワークシートを参照し、クラブによる目標達成の進展を記録する
- ・ スポンサークラブまたはローターアクトクラブ会長が、8 月 15 日までにオンラインの推薦フォームを提出する。フォームの記入にあたっては、このワークシートを参照する。

ロータリー賞を受賞するには、ローターアクトクラブは国際ロータリーから認定され、6 月 30 日までに地区ガバナーから承認されている必要があります。

ロータリー賞のカテゴリー	目標の詳細	目標の設定	達成
クラブの会員数	ロータリー年度末までにクラブ会員を__名とする。		
奉仕への参加	本ロータリー年度に、__名の会員がクラブの奉仕活動に参加する。		
ロータリー行動グループへの参加	本ロータリー年度に少なくとも 1 つのロータリー行動グループのメンバーとなる会員数を__名とする。		
リーダーシップ育成への参加	会員のスキルを伸ばすため、__回のリーダーシップ育成または職業能力開発プログラムを実施する。		
地区大会への参加	地区大会に__名の会員が出席する。		
ロータリー親睦活動グループへの参加	本ロータリー年度にロータリー親睦活動グループのメンバーとなる会員数を__名とする。		
地区研修への参加	__名のクラブ会員が地区の研修行事に出席する。		
ラーニングセンターの利用	__名のクラブ会員がラーニングセンターにアクセスし、それらの会員が__のコースを完了する。		
年次基金への寄付	ロータリー年次基金にクラブから寄付を行う。また、これらの寄付がローターアクトの寄付の達成証を得る要件を満たしているか確認する。		
ポリオプラス基金のための活動	本ロータリー年度中、ロータリーのポリオ根絶活動のための募金または認識向上のために、__件の活動を行う。		
奉仕プロジェクト	スポンサークラブと協力し、6 つの重点分野のいずれかにおいて、意義ある地域社会または国際奉仕プロジェクトを実施する。		
ローターアクトクラブの数	本ロータリー年度に__つのローターアクトクラブをスポンサーする。		
インターアクトクラブ	本ロータリー年度に__つのインターアクトクラブを共同スポンサーする。		
RYLA への参加	__名のクラブ会員がロータリー青少年指導者養成プログラム(RYLA)の計画に関わる、または RYLA に参加する。		
若いリーダーのためのプログラム	ロータリープログラム(RYLA、新世代交換など)を会員に紹介するための会合を開く。		
戦略計画	クラブには最新の戦略計画がある。		
オンラインでの存在感	クラブのオンラインページは、現在の活動状況を正確に伝えている。		
ウェブサイトとソーシャルメディアの更新	本ロータリー年度、クラブのウェブサイトまたはソーシャルメディアのページを月__回更新する。		
交流活動	本ロータリー年度、通常の例会以外に__回の交流行事を開く。		
クラブのプロジェクトに関するソーシャルメディアの利用	世界ローターアクト週間に行ったイベントや活動について、ソーシャルメディアで紹介する。		
ロータリーの公式推進資料の利用	本ロータリー年度、地域社会でローターアクトを推進するため、ブランドリソースセンターにある国際ロータリー作成のメッセージや公共奉仕関連の資料(動画、印刷広告、そのほかの資料)を利用する。		
クラブの推進	卓越したローターアクトプロジェクト賞にクラブの優れたプロジェクトを応募する。		